

アート&クラフト市場の活性化 及び人材育成について

【担当省庁】内閣官房、内閣府

文化庁の京都への全面的移転を見据えて、文化・芸術資源が集中し、観光地としての国際的評価も高いという京都の特徴を活かし、文化資源や観光とのコラボによるアート&クラフト市場の活性化や人材育成を図る取組を、地方創生推進交付金で採択いただきたい。

<予定する主な取組>

- 才能ある若手作家の発掘のための選抜展や若手作家による作品販売会の開催
- 現代アートに特化した「京都国際アートフェア」の開催
国内外の有名ギャラリーによる出展
寺社など京都ならではの場所での展覧会やレセプション
ラグジュアリー観光とのコラボによる工房見学ツアー
- 海外工芸関係団体との相互交流による商品開発や京都や世界のクラフトを集めた企画展示・商談会の開催 など

【現状・課題等】

■国内外アート市場の現状

- ・平成30年時点での世界のアート市場規模（美術工芸品含む）は約7兆5000億円
- ・一方、日本の市場規模は2461億円と世界市場に占める比率は、わずか3.3%
- ・GDP規模や富裕層人数の比率から、日本のアート市場は成長の余地がある
- ・京都は世界有数の観光都市であり、芸術家業の従業者数の特化係数も日本一

■京都の工芸品産業の現状及び課題

- ・京都府では、全国最多の17品目が国の「伝統的工芸品」に指定されるとともに上記を含む34品目を「京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づく「京もの指定工芸品」に指定
- ・京都府には、上記工芸品と最先端技術と融合した新しい感性を持つ工芸品が共存するが、世界への発信力が不足し国際市場で評価されるスキームの欠如が課題
- ・技術を継承する職人とともに、京都でも数社に留まる、伝統工芸の技術を生かして、世界に通用する新たな製品を生み出すコーディネーター人材の育成も課題

京都府 の担当課	文化スポーツ部 文化政策室 (075-414-4215) 文化芸術課 (075-414-4216) 商工労働観光部 染織・工芸課 (075-414-4888)
-------------	---

【国の事業等】

■概算要求 [内閣府]

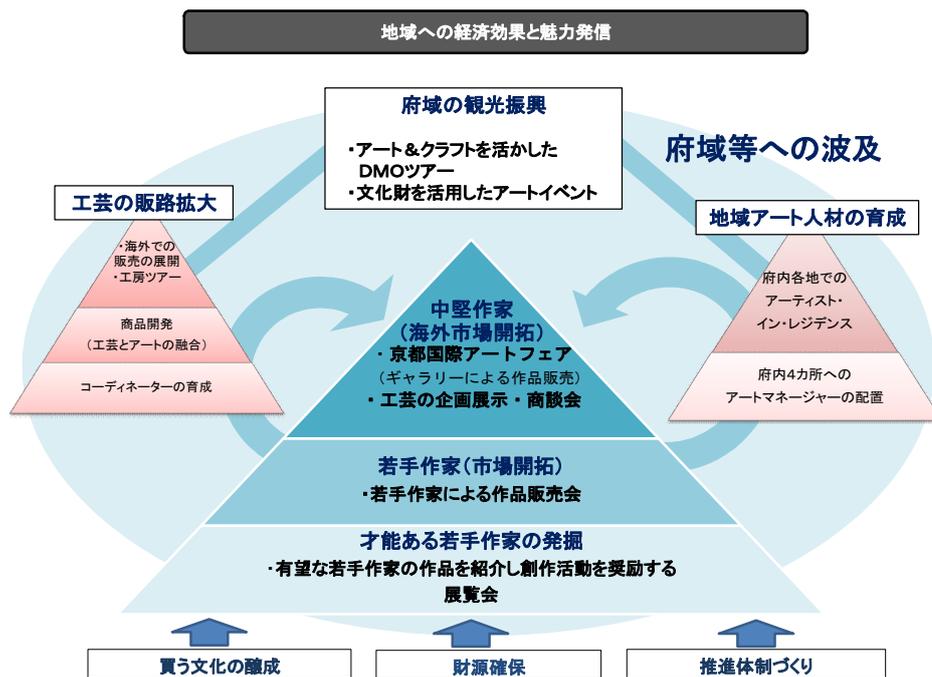
- ▶ 地方創生推進交付金 1,200 億円 (令和元年度予算 1,000 億円)

■まち・ひと・しごと創生基本方針 2019 (令和元年 6 月 21 日閣議決定)

- ▶ 「海外から稼ぐ」地方創生
(略) 伝統工芸品などの地元産品、古民家などの歴史的・文化資源等を活用し、一次産品や加工品の輸出を通じた海外現地での需要開拓 (アウトバウンド) と、訪日外国人の拡大と地方への誘客による地域内消費獲得 (インバウンド) の2つを地方創生の成長エンジンとし、対日直接投資との連携も含めた「海外から稼ぐ」地域の取組を関係省庁が一丸となって支援する。

【京都府の取組】

■アートフェアを核とした地域経済効果と魅力発信の事業展開



<期待される効果>

- ・海外コレクター等と京都の美術・工芸関係者との交流の場を創出
- ・若手作家の育成とアートをマネタイズできる人材の育成
- ・アートMICEとしての観光領域の拡大による地域振興
- ・アートを中心とした新たなクリエイティブ産業の発展

■中国「复星国際有限公司」との協定締結 (令和元年 5 月)

中国の投資会社「复星国際有限公司」と京都産品の販売促進等に係る協定を締結